

単元の指導計画（１）（８時間完了）

単元名 ２年「詩を創作しよう」（「見えないだけ」牟礼慶子／光村図書）

(1) 単元の目標

知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度

<b>知</b>	口語自由詩の特徴や表現技法の効果について理解することができる。
<b>思</b>	「読みの交流」を踏まえて、口語自由詩の特徴や表現技法の効果についての自分の考えを形成し、その考えを基に詩を創作することができる。
<b>態</b>	「読みの交流」「意見交流」に意欲的に参加し、友達のを考えを必要に応じて取り入れ、自分の考えを深めようとする。

(2) 単元構成と評価基準表

(話)：話すこと・聞くこと (書)：書くこと (読)：読むこと

場	思考	学習活動	時	評	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
考えを形成する場		<b>はじめの時間</b> ○ 単元の課題を知る。 ○ 単元で行う言語活動（「希望」をテーマにした口語自由詩を創作する）を知る。 ○ 今までの学習を振り返り、「口語自由詩の特徴や表現技法の効果」についても既存の知識を振り返る。 ○ 全文を通読する。 ○ はじめの考えを付箋紙にまとめる。	①	A	○ 「読みの交流」を踏まえて、口語自由詩の特徴や対句、体言止めなどの表現技法の効果について理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、口語自由詩の特徴や対句、体言止めなどの表現技法の効果をつえ、口語自由詩についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で、口語自由詩の特徴や対句、体言止めなどの表現技法の効果をつえ、口語自由詩についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、友達の考えの根拠をつえた上で、必要に応じてそれを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。
		<b>ひとり読み</b> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと自分の考えを比較したり関連付けたりする。 ○ 文章が示す内容や言葉の働きなどについてつえ「ひとり読みシート」に記述する。	②	B	○ 「読みの交流」を踏まえて、口語自由詩の特徴や対句、体言止めなどの表現技法の効果のいずれかについて理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、口語自由詩の特徴や対句、体言止めなどの表現技法の効果のいずれかをつえ、口語自由詩についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で口語自由詩の特徴や対句、体言止めなどの表現技法の効果のいずれかをつえ、口語自由詩についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、必要に応じて友達の考えを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。
		<b>読みの交流</b> ○ 本文中の特徴や表現技法の効果についての「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」でつえた「本文中の特徴や表現技法の効果」についての自分の考えを付箋紙に記述する。 <b>M</b>	③				

	<p><b>読みのまとめ</b></p> <p>○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。<b>M</b></p> <p>○ 足跡シートに自分の考えをまとめ、「口語自由詩の特徴や表現技法の効果」についてどのような、知識を身に付けたかを振り返る。<b>R</b> <b>M</b></p>	④	方法	<p>・付箋紙の記述内容</p> <p>・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)</p>	<p>・付箋紙の記述内容</p> <p>・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)</p>	<p>・ひとり読みシート</p> <p>・付箋紙の記述内容</p>
考えを基に表現する場	<p><b>下書き</b></p> <p>○ 表現の際に生かしたい知識を足跡シートに記入し、知識を基に表現できているか確認する。<b>拡M</b></p> <p>○ 「読みの交流」で形成した自分の考えを基に、詩の「下書き」をする。<b>拡M</b></p>	⑤	A	<p>○ 「意見交流」や詩の推敲を通して、口語自由詩の特徴や対句、体言止めなどの表現技法の効果について理解している。</p>	<p>○ 「意見交流」や詩の推敲を通して、口語自由詩の特徴や対句、体言止めなどの表現技法を効果的に用いて詩を書いている。(書)</p>	<p>○ 「意見交流」や詩の推敲を通して、友達からの指摘を踏まえ、自分の詩を見直し、必要に応じて改善しようとしている。</p>
	<p><b>意見交流</b></p> <p>○ 自分や他者の詩の下書きについて気付いたことを発表したり聞いたりし、より適切な表現について考え、必要に応じて表現し直す。<b>拡M</b></p> <p>○ 「意見交流」を通して、より適切な表現の仕方や改善策を考え、付箋紙に記述する。<b>収M</b></p>	⑥	B	<p>○ 「意見交流」や詩の推敲を通して、口語自由詩の特徴もしくは表現技法の効果について理解している。</p>	<p>○ 「意見交流」や詩の推敲を通して、口語自由詩の特徴や表現技法を用いて詩を書いている。(書)</p>	<p>○ 「意見交流」や詩の推敲を通して、自分の詩を見直し、必要に応じて改善しようとしている。</p>
	<p><b>清書</b></p> <p>○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、自分の考えを表現し直す。<b>収M</b></p> <p>○ 詩の清書を行う。</p>	⑦	方法	<p>・詩</p> <p>・足跡シート</p>	<p>・詩</p> <p>・足跡シート</p>	<p>・詩</p> <p>・足跡シート</p>
	<p><b>まとめの時間</b></p> <p>○ 足跡シートを記入し、単元でどのような知識を身に付けたか、単元の学習過程や思考方法について振り返る。<b>拡・収RM</b></p>	⑧				

単元の指導計画（2）（10時間完了）

単元名 2年「資料を示しながら意見を述べよう」（「生物が記録する科学」佐藤克文／光村図書）

(1) 単元の目標

知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度

<b>知</b>	図表に対する着目の仕方や取り出される情報と、それを基に導き出される考察との関わりを理解することができる。
<b>思</b>	「愛知県の『観光地』としての魅力とは」というテーマについて、根拠として適切な情報を図表から取り出し、自分の考えが明確に伝わるように論理の展開を工夫しながら表現することができる。
<b>態</b>	「読みの交流」「意見交流」に意欲的に参加し、友達の考えを必要に応じて取り入れ、自分の考えを深めようとする。

(2) 単元構成と評価基準表

(話)：話すこと・聞くこと (書)：書くこと (読)：読むこと

場	思考	学習活動	時	評	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
考えを形成する場		<b>はじめの時間</b> ○ 単元の課題を知る。 ○ 単元で行う言語活動（資料を示しながら意見を述べる）を知る。 ○ 今までの学習を振り返り、「事実と意見との関わりや、事実の示し方」についても既存の知識を振り返る。 ○ 全文を通読する。 ○ はじめの考えを付箋紙にまとめる。	①	A	○ 「読みの交流」を踏まえて、本文から筆者の意見と根拠を表す文章表現、また具体と抽象を表す文章表現を区別し、それぞれの関係を理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、文章と図表の内容の結び付きを捉えた上で、図表を用いて説明することのよさについての自分の考えを形成している。 (読)	○ 「ひとり読み」で、図表に対する着目の仕方や取り出される情報と、それを基に導き出される考察との関わりについての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、友達の考えの根拠を捉えた上で、必要に応じてそれを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。	
		<b>ひとり読み</b> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと自分の考えを比較したり関連付けたりする。 ○ 文章が示す内容や言葉の働きなどについて捉え「ひとり読みシート」に記述する。	② ③	B	○ 「読みの交流」を踏まえて、本文から筆者の意見と根拠を表す文章表現、また具体と抽象を表す文章表現を区別している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、文章と図表の内容の結び付きを捉えた上で、図表を用いて説明することのよさについての自分の考えを形成している。 (読)	○ 「ひとり読み」で見出しの表現の効果もしくは文章構成の工夫を捉え、自分の考えを簡潔に伝える工夫についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、必要に応じて友達の考えを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。	
		<b>読みの交流1</b> ○ 本文中の見出しと内容の関わりについての「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で捉えた「見出しの効果」についての自分の考えを付箋紙に記述する。 <b>M</b>	④					
		<b>読みの交流2</b> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。	⑤					

		<p><b>M</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文中の見出しと内容の関わりについての「読みの交流」を行う。</li> <li>○ 「読みの交流」で捉えた「説明文における図表の効果」についての自分の考えを付箋紙に記述する。<b>M</b></li> </ul>						
		<p><b>読みのまとめ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。</li> </ul> <p><b>M</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 足跡シートに自分の考えをまとめ、「図表を用いて説明することのよさ」についてどのような、知識を身に付けたかを振り返る。<b>RM</b></li> </ul>	⑥	方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・付箋紙の記述内容</li> <li>・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・付箋紙の記述内容</li> <li>・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとり読みシート</li> <li>・付箋紙の記述内容</li> </ul>	
考えを基に表現する場	拡散的思考を働かせる場面	<p><b>下書き</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 表現の際に生かした知識を足跡シートに記入し、知識を基に表現できているか確認する。<b>拡M</b></li> <li>○ 「読みの交流」で形成した自分の考えを基に、発表原稿の「下書き」をする。<b>拡M</b></li> </ul>	⑦	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「意見交流」や発表原稿の推敲を通して、資料から取り出した情報と考察について、具体と抽象とを区別して、状況や必要に応じて使い分けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「意見交流」や発表原稿の推敲を通して、資料に含まれる情報について、自分の考えとの整合性を吟味したり、聞き手が論理の展開を理解しやすいような順番を工夫したりしながら、根拠として用いている。(話)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「意見交流」や発表原稿の推敲を通して、友達からの指摘を踏まえ、自分の見出しを見直し、必要に応じて改善しようとしている。</li> </ul>	
		<p><b>意見交流</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分や他者の発表原稿の下書きについて気付いたことを発表したり聞いたりし、より適切な表現について考え、必要に応じて表現し直す。<b>拡M</b></li> <li>○ 「意見交流」を通して、より適切な表現の仕方や改善策を考え、付箋紙に記述する。<b>収M</b></li> </ul>	⑧	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「意見交流」や発表原稿の推敲を通して、資料から取り出した情報と考察について、具体と抽象とを区別して、使い分けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「意見交流」や発表原稿の推敲を通して、資料に含まれる情報から自分の考えを説明する際に必要なものを選択し、根拠として用いている。(話)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「意見交流」や発表原稿の推敲を通して、自分の見出しを見直し、必要に応じて改善しようとしている。</li> </ul>	
		<p><b>清書</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、自分の考えを表現し直す。<b>収M</b></li> <li>○ 発表原稿の清書を行</li> </ul>	⑨					
	収束的思考を働かせる場面							

	う。		<b>方 法</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表原稿</li> <li>・発表の動画</li> <li>・足跡シート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表原稿</li> <li>・発表の動画</li> <li>・足跡シート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表原稿</li> <li>・発表の動画</li> <li>・足跡シート</li> </ul>
	<b>まとめの時間</b> ○ 足跡シートを記入し、 単元でどのような知識 を身に付けたか、単元 の学習過程や思考方 法について振り返る。 <b>拡・収RM</b>	⑩			

単元の指導計画（3）（4時間完了）

単元名 2年「著者の一番のオススメを考えよう」（「枕草子」/光村図書）

(1) 単元の目標

知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度

<b>知</b>	枕草子を読むことを通して当時の人のものの見方や考え方について理解することができる。
<b>思</b>	「読みの交流」を踏まえて、当時の人のものの見方や考え方についての自分の考えを形成することができる。
<b>態</b>	「読みの交流」に意欲的に参加し、友達の考えを必要に応じて取り入れ、自分の考えを深めようとする。

(2) 単元構成と評価基準表

(話)：話すこと・聞くこと (書)：書くこと (読)：読むこと

場	思考	学習活動	時	評	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
考えを形成する場		<b>はじめの時間</b> ○ 単元の課題を知る。 ○ 「枕草子」に関わる知識を確認する。 ・清少納言について ・書かれた時代について ・随筆について ○ 読みの交流の最後に「本文における一番のオススメは何か」について考えを形成することを通して「当時の人たちのものの見方や考え方」について考えを形成することを伝える。 ○ 全文を通読する。 ○ はじめの考えを付箋紙にまとめる。	①	A	○ 「読みの交流」や「はじめの時間」を踏まえて、当時の人のものの見方や考え方について理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、本文中に書かれている季節の良さの程度の違いを文章中の言葉を根拠に捉えることを通して、当時の人のものの見方や考え方についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で、本文中に書かれている季節の良さの程度の違いを捉え当時の人のものの見方や考え方についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、友達の考えの根拠を捉えた上で、必要に応じてそれを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。
		<b>ひとり読み</b> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと自分の考えを比較したり関連付けたりする。 ○ 文章が示す内容や言葉の働きなどについて捉え「ひとり読みシート」に記述する。	②	B	○ 「読みの交流」を踏まえて、当時の人のものの見方や考え方について理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、本文中に書かれている季節の良さを文章中の言葉を根拠に捉えることを通して、当時の人のものの見方や考え方についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で本文中に書かれている季節の良さを捉え当時の人のものの見方や考え方についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、必要に応じて友達の考えを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。
		<b>読みの交流</b> ○ 本文中の季節の良さについて「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で捉えた「著者の一番のオススメ」についての自分の考えを付箋紙に記述する。 <b>M</b>	③				

	<p><b>読みのまとめ</b></p> <p>○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。</p> <p><b>M</b></p> <p>○ 足跡シートに自分の考えをまとめ、「当時の人たちのものの見方や考え方」についてどのような、知識を身に付けたかを振り返る。<b>RM</b></p>	<p><b>④</b></p> <p><b>方法</b></p>	<p>・付箋紙の記述内容</p> <p>・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)</p>	<p>・付箋紙の記述内容</p> <p>・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)</p>	<p>・ひとり読みシート</p> <p>・付箋紙の記述内容</p>
--	---	----------------------------------	---	---	-----------------------------------

単元の指導計画（４）（10 時間完了）

単元名 2年「自分の思いを表現しよう」（「言葉の力」大岡信／光村図書）

(1) 単元の目標

知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度

知	自分の思いを表現するための文章構成について理解することができる。
思	「読みの交流」を踏まえて、自分の思いを表現するための文章構成についての自分の考えを形成し、根拠を明確にして表現することができる。
態	「読みの交流」「意見交流」に意欲的に参加し、友達の考えを必要に応じて取り入れ、自分の考えを深めようとする。

(2) 単元構成と評価基準表

(話)：話すこと・聞くこと (書)：書くこと (読)：読むこと

場	思考	学習活動	時	評	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
考えを形成する場		<b>はじめの時間</b> ○ 単元の課題を知る。 ○ 単元で行う言語活動（休校についての感想文を書く）を知る。 ○ 今までの学習を振り返り、「自分の思いの伝え方」についての既存の知識を振り返る。 ○ 全文を通読する。 ○ はじめの考えを付箋紙にまとめる。	①	A	○ 「読みの交流」を踏まえて、双括型や自分の思いを伝えるための根拠として自分の経験を用いることの効果について理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、双括型や自分の思いを伝えるための根拠として自分の経験を用いることの効果を捉え、自分の思いを伝える工夫についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で双括型や自分の思いを伝えるための根拠として自分の経験を用いることの効果についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、友達の考えの根拠を捉えた上で、必要に応じてそれを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。
		<b>ひとり読み</b> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと自分の考えを比較したり関連付けたりする。 ○ 文章が示す内容や言葉の働きなどについて捉え「ひとり読みシート」に記述する。	② ③				
		<b>読みの交流1</b> ○ 本文中の双括型の文章構成と筆者の思いとの関わりについての「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で捉えた「総括型の文章構成の効果」についての自分の考えを付箋紙に記述する。M	④				
		<b>読みの交流2</b> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。 M	⑤				



		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文中のエピソードと筆者の思いとの関わりについての「読みの交流」を行う。</li> <li>○ 「読みの交流」で捉えた「自分の思いを伝える工夫」についての自分の考えを付箋紙に記述する。<b>M</b></li> </ul>					
		<p><b>読みのまとめ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。<b>M</b></li> <li>○ 足跡シートに自分の考えをまとめ、「自分の思いを伝える工夫」についてどのような、知識を身に付けたかを振り返る。<b>RM</b></li> </ul>	⑥	方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・付箋紙の記述内容</li> <li>・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・付箋紙の記述内容</li> <li>・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとり読みシート</li> <li>・付箋紙の記述内容</li> </ul>
考えを基に表現する場	拡散的思考を働かせる場面	<p><b>下書き</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 表現の際に生かした知識を足跡シートに記入し、知識を基に表現できているか確認する。<b>拡M</b></li> <li>○ 「読みの交流」で形成した自分の考えを基に、感想文の「下書き」をする。<b>拡M</b></li> </ul>	⑦	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「意見交流」や感想文の推敲を通して、双括型や自分の思いを伝えるための根拠として自分の経験をを用いることの効果について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「意見交流」や感想文の推敲を通して、双括型や自分の思いを伝えるための根拠として自分の経験を効果的に用いて書いている。(書)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「意見交流」や感想文の推敲を通して、友達からの指摘を踏まえ、自分の見出しを見直し、必要に応じて改善しようとしている。</li> </ul>
		<p><b>意見交流</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分や感想文の下書きについて気付いたことを発表したり聞いたりし、より適切な表現について考え、必要に応じて表現し直す。<b>拡M</b></li> <li>○ 「意見交流」を通して、より適切な表現の仕方や改善策を考え、付箋紙に記述する。<b>収M</b></li> </ul>	⑧	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「意見交流」や感想文の推敲を通して、双括型や自分の思いを伝えるための根拠として自分の経験をを用いることの効果のいずれかについて理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「意見交流」や感想文の推敲を通して、双括型や自分の思いを伝えるための根拠として自分の経験のいずれかを用いて書いている。(書)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「意見交流」や感想文の推敲を通して、自分の感想文を見直し、必要に応じて改善しようとしている。</li> </ul>
	<p><b>清書</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、自分の考えを表現し直す。<b>収M</b></li> <li>○ 感想文の清書を行う。</li> </ul>	⑨	方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感想文</li> <li>・足跡シート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感想文</li> <li>・足跡シート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感想文</li> <li>・足跡シート</li> </ul>	

	<b>まとめの時間</b> ○ 足跡シートを記入し、 単元でどのような知識 を身に付けたか、単元 の学習過程や思考方 法について振り返る。 <b>拡・収RM</b>	⑩			
--	--	---	--	--	--

単元の指導計画（５）（１０時間完了）

単元名 ２年「短歌を創作し、発表しよう」（「新しい短歌のために」「短歌を味わう」／光村図書）

(1) 単元の目標

知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度

<b>知</b>	短歌における語感やリズムなどの言葉の特徴について理解することができる。
<b>思</b>	「読みの交流」を踏まえて、短歌における言葉の特徴についての自分の考えを形成し、根拠を明確にして表現することができる。
<b>態</b>	「読みの交流」「意見交流」に意欲的に参加し、友達の考えを必要に応じて取り入れ、自分の考えを深めようとする。

(2) 単元構成と評価基準表

(話)：話すこと・聞くこと (書)：書くこと (読)：読むこと

場	思考	学習活動	時	評	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
考えを形成する場		<b>はじめの時間</b> ○ 単元の課題を知る。 ○ 単元で行う言語活動（新しい短歌を創作し発表する）を知る。 ○ 今までの学習を振り返り、「短歌について知っていること」についての既存の知識を振り返る。 ○ 全文を通読する。 ○ はじめの考えを付箋紙にまとめる。	①	A	○ 「読みの交流」を踏まえて、短歌における語感やリズムなどの言葉の特徴について理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、短歌における語感やリズムなどの言葉の特徴を捉え、「短歌の新しさ」についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で、短歌における語感やリズムなどの言葉の特徴を捉え、「短歌の新しさ」についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、友達の考えの根拠を捉えた上で、必要に応じてそれを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。	
		<b>ひとり読み</b> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと自分の考えを比較したり関連付けたりする。 ○ 文章が示す内容や言葉の働きなどについて捉え「ひとり読みシート」に記述する。	② ③	B	○ 「読みの交流」を踏まえて、短歌における語感やリズムなどの言葉の特徴のいずれかについて理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、短歌における語感やリズムなどの言葉の特徴のいずれかを捉え、「短歌の新しさ」についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で短歌における語感やリズムなどの言葉の特徴のいずれかを捉え、「短歌の新しさ」についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、必要に応じて友達の考えを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。	
		<b>読みの交流1</b> ○ 「新しい短歌のために」から短歌の新しさについての「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で捉えた「短歌の新しさ」についての自分の考えを付箋紙に記述する。 <b>M</b>	④					
		<b>読みの交流2</b> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。 <b>M</b>	⑤					

		○ 「短歌を味わう」の短歌から短歌の新しさについての「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で捉えた「短歌の新しさ」についての自分の考えを付箋紙に記述する。M				
		<b>読みのまとめ</b> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。M ○ 足跡シートに自分の考えをまとめ、「短歌の新しさ」についてどのような、知識を身に付けたかを振り返る。RM	⑥	<b>方法</b> ・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)	・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)	・ひとり読みシート ・付箋紙の記述内容
考えを基に表現する場	拡散的思考を働かせる場面	<b>下書き</b> ○ 表現の際に生かしたい知識を足跡シートに記入し、知識を基に表現できているか確認する。拡M ○ 「読みの交流」で形成した自分の考えを基に、短歌とその新しさについての発表原稿の「下書き」をする。拡M	⑦	A ○ 「意見交流」や発表原稿の推敲を通して、短歌における語感やリズムの工夫について理解している。	○ 「意見交流」や発表原稿の推敲を通して、短歌における語感やリズムの工夫を用いて発表原稿を書いている。(書) ○ 短歌の新しさについての自分の考えが明確になるように、短歌を板書したり、話の構成を工夫したりしている。(話)	○ 「意見交流」や発表原稿の推敲を通して、友達からの指摘を踏まえ、自分の発表原稿を見直し、必要に応じて改善しようとしている。
		<b>意見交流</b> ○ 自分や他者の発表原稿の下書きについて気付いたことを発表したり聞いたりし、より適切な表現について考え、必要に応じて表現し直す。拡M ○ 「意見交流」を通して、より適切な表現の仕方や改善策を考え、付箋紙に記述する。収M	⑧	B ○ 「意見交流」や発表原稿の推敲を通して、短歌における語感やリズムの工夫のいずれかについて理解している。	○ 「意見交流」や発表原稿の推敲を通して、短歌における語感やリズムの工夫のいずれかを用いて発表原稿を書いている。(書) ○ 短歌の新しさについての自分の考えが明確になるように、話の構成を工夫したりしている。(話)	○ 「意見交流」や発表原稿の推敲を通して、自分の発表原稿を見直し、必要に応じて改善しようとしている。
		<b>清書</b> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、自分の考えを表現し直す。収M ○ 短歌とその新しさについての発表原稿の清書を行う。	⑨	<b>方法</b> ・発表原稿 ・足跡シート	・発表原稿 ・発表の様子 ・足跡シート	・発表原稿 ・発表の様子 ・足跡シート
	収束的思考を働かせる場面					

	<p><b>まとめの時間</b></p> <p>○ 短歌とその新しさ についての発表を行 う。</p> <p>○ 足跡シートを記入し、 単元でどのような知識 を身に付けたか、単元 の学習過程や思考方 法について振り返る。</p> <p><b>拡・収RM</b></p>	⑩			
--	--	---	--	--	--

単元の指導計画（6）（10 時間完了）

単元名 2年「意見文を書こう」（「モアイは語る」安田喜憲／光村図書）

(1) 単元の目標

知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度

知	自分の意見に説得力をもたせるための尾括型の文章構成とその効果や、比喩表現やおおげさな表現の効果、文末表現の工夫について理解することができる。
思	「読みの交流」を踏まえて、自分の意見に説得力をもたせるための尾括型の文章構成とその効果や、比喩表現やおおげさな表現の効果、文末表現の工夫についての自分の考えを形成し、根拠を明確にして表現することができる。
態	「読みの交流」「意見交流」に意欲的に参加し、友達の考えを必要に応じて取り入れ、自分の考えを深めようとする。

(2) 単元構成と評価基準表

(話)：話すこと・聞くこと (書)：書くこと (読)：読むこと

場	思考	学習活動	時	評	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
考えを形成する場		<b>はじめの時間</b> ○ 単元の課題を知る。 ○ 単元で行う言語活動（勉強するのに最も適した場所について意見文を書く）を知る。 ○ 今までの学習を振り返り、「説得力がある文章」についても既存の知識を振り返る。 ○ 全文を通読する。 ○ はじめの考えを付箋紙にまとめる。	①	A	○ 「読みの交流」を踏まえて、尾括型の文章構成とその効果や比喩表現やおおげさな表現の効果、文末表現の工夫について理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、尾括型の文章構成とその効果や比喩表現やおおげさな表現の効果、文末表現の工夫を捉え、自分の意見に説得力をもたせるための工夫についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で、尾括型の文章構成とその効果や比喩表現やおおげさな表現の効果、文末表現の工夫を捉え、自分の意見に説得力をもたせるための工夫についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、友達の考えの根拠を捉えた上で、必要に応じてそれを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。
		<b>ひとり読み</b> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと自分の考えを比較したり関連付けたりする。 ○ 文章が示す内容や言葉の働きなどについて捉え「ひとり読みシート」に記述する。	② ③	B	○ 「読みの交流」を踏まえて、尾括型の文章構成とその効果や比喩表現やおおげさな表現の効、文末表現の工夫のいずれかについて理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、尾括型の文章構成とその効果や比喩表現やおおげさな表現の効果、文末表現の工夫のいずれかを捉え、自分の意見に説得力をもたせるための工夫についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で尾括型の文章構成とその効果や比喩表現やおおげさな表現の効果、文末表現の工夫のいずれかを捉え、自分の意見に説得力をもたせるための工夫についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、必要に応じて友達の考えを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。
		<b>読みの交流1</b> ○ 本文中の自分の意見に説得力をもたせる文章構成の工夫についての「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で捉えた「自分の意見に説得力をもたせる工夫」についての自分の考えを付箋紙に記述する。M	④				

	<p><b>読みの交流2</b></p> <p>○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。<b>M</b></p> <p>○ 本文中の自分の意見に説得力をもたせる文章表現の工夫についての「読みの交流」を行う。</p> <p>○ 「読みの交流」で捉えた「自分の意見に説得力をもたせる工夫」についての自分の考えを付箋紙に記述する。<b>M</b></p>	⑤				
	<p><b>読みのまとめ</b></p> <p>○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。<b>M</b></p> <p>○ 足跡シートに自分の考えをまとめ、「自分の意見に説得力をもたせるための工夫」についてどのような、知識を身に付けたかを振り返る。<b>RM</b></p>	⑥	方法	<p>・付箋紙の記述内容</p> <p>・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)</p>	<p>・付箋紙の記述内容</p> <p>・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)</p>	<p>・ひとり読みシート</p> <p>・付箋紙の記述内容</p>
考えを基に表現する場	<p><b>下書き</b></p> <p>○ 表現の際に生かした知識を足跡シートに記入し、知識を基に表現できているか確認する。<b>拡M</b></p> <p>○ 「読みの交流」で形成した自分の考えを基に、「勉強するのに最も適した場所」についての意見文の「下書き」をする。<b>拡M</b></p>	⑦	A	<p>○ 「意見交流」や意見文の推敲を通して、尾括型の文章構成とその効果や比喻表現やおおげさな表現の効果、文末表現の工夫について理解している。</p>	<p>○ 「意見交流」や意見文の推敲を通して、尾括型の文章構成とその効果や比喻表現やおおげさな表現の効果、文末表現の工夫を用いて意見文を書いている。(書)</p>	<p>○ 「意見交流」や意見文の推敲を通して、友達からの指摘を踏まえ、自分の意見文を見直し、必要に応じて改善しようとしている。</p>
	<p><b>意見交流</b></p> <p>○ 自分や他者の意見文の下書きについて気付いたことを発表したり聞いたりし、より適切な表現について考え、必要に応じて表現し直す。<b>拡M</b></p> <p>○ 「意見交流」を通して、より適切な表現の仕方</p>	⑧	B	<p>○ 「意見交流」や意見文の推敲を通して、尾括型の文章構成とその効果や比喻表現やおおげさな表現の効果、文末表現の工夫のいずれかについて</p>	<p>○ 「意見交流」や意見文の推敲を通して、尾括型の文章構成とその効果や比喻表現やおおげさな表現の効果、文末表現の工夫のいずれかを用いて</p>	<p>○ 「意見交流」や意見文の推敲を通して、自分の意見文を見直し、必要に応じて改善しようとしている。</p>

収束的思考を働かせる場面	や改善策を考え、付箋紙に記述する。 <b>収M</b> <b>清書</b> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、自分の考えを表現し直す。 <b>収M</b> ○ 意見文の清書を行う。	⑨	理解している。  方法 ・意見文 ・足跡シート	見文を書いている。(書)  ・意見文 ・足跡シート	・意見文 ・足跡シート
	<b>まとめの時間</b> ○ 足跡シートを記入し、単元でどのような知識を身に付けたか、単元の学習過程や思考方法について振り返る。 <b>拡・収RM</b>	⑩			



単元の指導計画（7）（12時間完了）

単元名 2年「盆土産の紹介文を書こう」（「盆土産」三浦哲郎／光村図書）

(1) 単元の目標

知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度

<b>知</b>	作品に感動をもたらすための場面の展開や登場人物の描写の仕方について理解することができる。
<b>思</b>	「読みの交流」を踏まえて、作品に感動をもたらすための場面の展開や登場人物の描写の仕方についての自分の考えを形成し、根拠を明確にして表現することができる。
<b>態</b>	「読みの交流」「意見交流」に意欲的に参加し、友達の考えを必要に応じて取り入れ、自分の考えを深めようとする。

(2) 単元構成と評価基準表

(話)：話すこと・聞くこと (書)：書くこと (読)：読むこと

場	思考	学習活動	時	評	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
考えを形成する場		<b>はじめの時間</b> ○ 単元の課題を知る。 ○ 単元で行う言語活動（盆土産の紹介文を書く）を知る。 ○ 今までの学習を振り返り、「作品に感動をもたらすための工夫」についても既存の知識を振り返る。 ○ 全文を通読する。 ○ はじめの考えを付箋紙にまとめる。	①	A	○ 「読みの交流」を踏まえて、作品に感動をもたらすための時間の経過を中心とした場面の展開の効果や登場人物の描写の仕方について理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、時間の経過を中心とした場面の展開の効果や登場人物の描写から登場人物の心情を捉え、作品に感動をもたらすための工夫についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で時間の経過を中心とした場面の展開の効果や登場人物の描写から登場人物の心情を捉え、作品に感動をもたらすための自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、友達の考えの根拠を捉えた上で、必要に応じてそれを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。	
		<b>ひとり読み</b> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと自分の考えを比較したり関連付けたりする。 ○ 文章が示す内容や言葉の働きなどについて捉え「ひとり読みシート」に記述する。	② ③ ④	B	○ 「読みの交流」を踏まえて、作品に感動をもたらすための時間の経過を中心とした場面の展開の効果や、登場人物の描写の仕方について理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、時間の経過を中心とした場面の展開の効果や、登場人物の描写のいずれかから登場人物の心情を捉え、作品に感動をもたらすための工夫についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で時間の経過を中心とした場面の展開の効果や登場人物の描写のいずれかから登場人物の心情を捉えようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、必要に応じて友達の考えを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。	
		<b>読みの交流1</b> ○ 「僕」の描写についての「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で捉えた「作品に感動をもたらすための登場人物の描写の仕方」についての自分の考えを付箋紙に記述する。M	⑤					
		<b>読みの交流2</b> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較した	⑥					

		り、関連付けたりする。 <b>M</b> ○ 「僕」以外の登場人物の描写についての「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で捉えた「作品に感動をもたらすための登場人物の描写の仕方」についての自分の考えを付箋紙に記述する。 <b>M</b>			
		<b>読みの交流3</b> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。 <b>M</b> ○ 場面の展開の仕方についての「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で捉えた「作品に感動をもたらすための場面の展開の仕方」についての自分の考えを付箋紙に記述する。 <b>M</b>	⑦		
		<b>読みのまとめ</b> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。 <b>M</b> ○ 足跡シートに自分の考えをまとめ、作品に感動をもたらすための工夫についてどのような、知識を身に付けたかを振り返る。 <b>RM</b>	⑧	<b>方法</b> ・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)	・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)
考えを基に表現する場面	拡散的思考を働かせる場面	<b>下書き</b> ○ 表現の際に生かしたい知識を足跡シートに記入し、知識を基に表現できているか確認する。 <b>拡M</b> ○ 「読みの交流」で形成した自分の考えを基に、盆土産の紹介文の「下書き」をする。 <b>拡M</b>	⑨	<b>A</b> ○ 「意見交流」や盆土産の紹介文の推敲を通して、作品に感動をもたらすための時間の経過を中心とした場面の展開の効果や登場人物の描写の仕方について理解している。	○ 「意見交流」や盆土産の紹介文の推敲を通して、盆土産の紹介文を書く上で適切な根拠を用いて紹介文を書いている。(書)
		<b>意見交流</b>			

	収束的思考を働かせる場	<p>○ 自分や他者の盆土産の紹介文の「下書き」について気付いたことを発表したり聞いたりし、より適切な表現について考え、必要に応じて表現し直す。<b>拡M</b></p> <p>○ 「意見交流」を通して、より適切な表現の仕方や改善策を考え、付箋紙に記述する。<b>収M</b></p> <p><b>清書</b></p> <p>○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、自分の考えを表現し直す。<b>収M</b></p> <p>○ 盆土産の紹介文の清書を行う。</p>	⑩	B	<p>○ 「意見交流」や盆土産の紹介文の推敲を通して、作品に感動をもたらすための時間の経過を中心とした場面の展開の効果や登場人物の描写の仕方のいずれかについて理解している。</p>	<p>○ 「意見交流」や盆土産の紹介文の推敲を通して、盆土産の紹介文を書く上で根拠を用いて紹介文を書いている。(書)</p>	<p>○ 「意見交流」や盆土産の紹介文の推敲を通して、自分の紹介文を見直し、必要に応じて改善しようとしている。</p>
				方法	<p>・盆土産の紹介文 ・足跡シート</p>	<p>・盆土産の紹介文 ・足跡シート</p>	<p>・盆土産の紹介文 ・足跡シート</p>
		<p><b>まとめの時間</b></p> <p>○ 足跡シートを記入し、単元でどのような知識を身に付けたか、単元の学習過程や思考方法について振り返る。<b>拡・収RM</b></p>	⑫				

単元の指導計画（8）（11 時間完了）

単元名 2年「説得力のあるスピーチをしよう」（「ガイアの知性」龍村仁／教育出版）

(1) 単元の目標

知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度

知	言葉の選び方や順序など、主張に説得力をもたせるための文章や話の構成を捉え、論理の展開について理解を深めることができる。
思	「読みの交流」を踏まえて、主張の根拠のつながりや論理の展開などの工夫についての自分の考えを形成し、話の構成を工夫して表現することができる。
態	「読みの交流」「意見交流」に意欲的に参加し、友達の考えを必要に応じて取り入れ、自分の考えを深めようとする。

(2) 単元構成と評価基準表

(話)：話すこと・聞くこと (書)：書くこと (読)：読むこと

場	思考	学習活動	時	評	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
考えを形成する場		<b>はじめの時間</b> ○ 単元の課題を知る。 ○ 単元で行う言語活動（説得力のあるスピーチをする）を知る。 ○ 今までの学習を振り返り、「説得力のある話をするための工夫」についても既存の知識を振り返る。 ○ 全文を通読する。 ○ はじめの考えを付箋紙にまとめる。M	①	A	○ 「読みの交流」を踏まえて、関わり合う言葉の表現の工夫や、言葉や文をつなぐ言葉の使い方の文章構成の工夫から、適切な根拠を主張につなげたり、具体例が根拠を裏付けたりする論理の展開の仕方について理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、関わり合う言葉の表現の工夫や、言葉や文をつなぐ言葉の使い方の文章構成の工夫から、適切な根拠を主張につなげたり、具体例が根拠を裏付けたりする論理の展開の仕方を捉え、主張に説得力をもたせるような、論理の展開の仕方についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で、関わり合う言葉の表現の工夫や、言葉や文をつなぐ言葉の使い方の文章構成の工夫から、適切な根拠を主張につなげたり、具体例が根拠を裏付けたりする論理の展開の仕方を捉え、主張に説得力をもたせるような、論理の展開の仕方についての自分の考えを形成しようとしている。
		<b>ひとり読み</b> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと自分の考えを比較したり関連付けたりする。 ○ 文章が示す内容や言葉の働きなどについて捉え「ひとり読みシート」に記述する。M	② ③	B	○ 「読みの交流」を踏まえて、関わり合う言葉の表現の工夫や、言葉や文をつなぐ言葉の使い方の文章構成の工夫から、論理の展開の仕方の、適切な根拠を	○ 「読みの交流」を踏まえて、関わり合う言葉の表現の工夫や、言葉や文をつなぐ言葉の使い方の文章構成の工夫から、論理の展開の仕方の、適切な根拠を主張につ	○ 「ひとり読み」で、「読みの交流」を通して、友達の考えの根拠を捉えた上で、必要に応じてそれを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。
		<b>読みの交流1</b> ○ 本文中の主張とその根拠についての「読みの交流」を行う。 ○ 読みの交流で捉えた主張とその根拠についての自分の考えを付箋紙に記述させる。M	④		○ 「読みの交流」を踏まえて、関わり合う言葉の表現の工夫や、言葉や文をつなぐ言葉の使い方の文章構成の工夫から、論理の展開の仕方の、適切な根拠を	○ 「読みの交流」を踏まえて、関わり合う言葉の表現の工夫や、言葉や文をつなぐ言葉の使い方の文章構成の工夫から、論理の展開の仕方の、適切な	○ 「ひとり読み」で、「読みの交流」を踏まえて、関わり合う言葉の表現の工夫や、言葉や文をつなぐ言葉の使い方の文章構成の工夫から、論理の展開の仕方の、適切な

	<p><b>読みの交流2</b></p> <p>○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。<b>M</b></p> <p>○ 本文中の自分の意見に根拠の適切さについての「読みの交流」を行う。</p> <p>○ 「読みの交流」で捉えた根拠の適切さについての自分の考えを付箋紙に記述する。<b>M</b></p>	⑤		<p>主張につなげることと、具体例が根拠を裏付けることのいずれかについて理解している。</p>	<p>なげることと、具体例が根拠を裏付けることのいずれかを捉え、主張に説得力をもたせるような、論理の展開の仕方についての自分の考えを形成している。(読)</p>	<p>根拠を主張につなげることと、具体例が根拠を裏付けることのいずれかを捉え、主張に説得力をもたせるような、論理の展開の仕方についての自分の考えを形成しようとしている。</p> <p>○ 「読みの交流」を通して、必要に応じて友達の考えを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。</p>
	<p><b>読みのまとめ</b></p> <p>○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。<b>M</b></p> <p>○ 足跡シートに自分の考えをまとめ、「主張に説得力をもたせるための工夫」についてどのような、知識を身に付けたかを振り返る。<b>RM</b></p>	⑥	方法	<p>・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)</p>	<p>・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)</p>	<p>・ひとり読みシート ・付箋紙の記述内容</p>
<p>考えを基に表現する場</p>	<p><b>下書き</b></p> <p>○ 表現の際に生かした知識を足跡シートに記入し、知識を基に表現できているか確認する。<b>拡M</b></p> <p>○ 「読みの交流」で形成した自分の考えを基に、「世の中をよりよくするためにどうすべきか」についてのスピーチの「下書き」をする。<b>拡M</b></p> <p>○ テーマについてのスピーチの構成メモを考えさせる。</p> <p>○ Chromebook でスピーチを録画させる。</p> <p><b>意見交流</b></p>	⑦ ⑧	A	<p>○ 「意見交流」やスピーチの内容の推敲を通して、関わり合う言葉の表現の工夫や、言葉や文をつなぐ言葉の使い方の文章構成の工夫から、適切な根拠を主張につなげたり、具体例が根拠を裏付けたりする論理の展開の仕方について理解している。</p>	<p>○ 「意見交流」やスピーチの内容の推敲を通して、関わり合う言葉の表現の工夫や、言葉や文をつなぐ言葉の使い方の文章構成の工夫から、適切な根拠を主張につなげたり、具体例が根拠を裏付けたりする論理の展開の仕方を踏まえて、説得力のあるスピーチをしている。(話)</p>	<p>○ 「意見交流」やスピーチの内容の推敲を通して、友達からの指摘を踏まえ、自分のスピーチを見直し、必要に応じて改善しようとしている。</p>

収束的思考を働かせる場面	<p>○ 自分や他者のスピーチの内容について気付いたことを発表したり聞いたりし、より適切な表現について考え、必要に応じて表現し直す。<b>拡M</b></p> <p>○ 「意見交流」を通して、より適切な表現の仕方や改善策を考え、付箋紙に記述する。<b>収M</b></p>	⑨	<b>B</b>	<p>○ 「意見交流」やスピーチの内容の推敲を通して、言葉や文をつなぐ言葉の使い方の文章構成の工夫から、適切な根拠を主張につなげることと、具体例が根拠を裏付けることについて理解している。</p>	<p>○ 「読みの交流」を踏まえて、関わり合う言葉の表現の工夫や、言葉や文をつなぐ言葉の使い方の文章構成の工夫から、論理の展開の仕方の、適切な根拠を主張につなげることと、具体例が根拠を裏付けることについて理解している。(話)</p>	<p>○ 「意見交流」やスピーチの内容の推敲を通して、自分のスピーチの内容を見直し、必要に応じて改善しようとしている。</p>
	<p><b>本番の発表</b></p> <p>○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、自分の考えを表現し直す。<b>収M</b></p> <p>○ 本番の発表を行う。</p>	⑩		<p><b>方法</b></p> <p>・スピーチ ・足跡シート</p>	<p>・スピーチ ・足跡シート</p>	<p>・スピーチ ・足跡シート</p>
	<p><b>まとめの時間</b></p> <p>○ 足跡シートを記入し、単元でどのような知識を身に付けたか、単元の学習過程や思考方法について振り返る。<b>拡・収RM</b></p>	⑪				

単元の指導計画（9）（10時間完了）

単元名 2年「平家物語を朗読しよう」（「平家物語」／光村図書）

(1) 単元の目標

知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度

<b>知</b>	和漢混交文のリズムや言葉の働きについて理解することができる。
<b>思</b>	「読みの交流」を踏まえて、和漢混交文のリズムや言葉の働きについて自分の考えを形成し、朗読する表現することができる。
<b>態</b>	「読みの交流」「意見交流」に意欲的に参加し、友達の考えを必要に応じて取り入れ、自分の考えを深めようとする。

(2) 単元構成と評価基準表

(話)：話すこと・聞くこと (書)：書くこと (読)：読むこと

場	思考	学習活動	時	評	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
考えを形成する場		<b>はじめの時間</b> ○ 単元の課題を知る。 ○ 単元で行う言語活動（「平家物語」を朗読する）を知る。 ○ 今までの学習を振り返り、「古文の知識」についても既存の知識を振り返る。 ○ 全文を通読する。 ○ はじめの考えを付箋紙にまとめる。	①	A	○ 「読みの交流」を踏まえて、和漢混交文のリズムや擬音語、擬態語などの表現の効果について理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、和漢混交文のリズムや擬音語、擬態語などの表現の効果をつまみ、朗読の仕方についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で、和漢混交文のリズムや擬音語、擬態語などの表現の効果をつまみようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、友達の考えの根拠をつまみ、和漢混交文のリズムや擬音語、擬態語などの表現の効果をつまみ、朗読の仕方についての自分の考えを形成しようとしている。
		<b>ひとり読み</b> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと自分の考えを比較したり関連付けたりする。 ○ 文章が示す内容や言葉の働きなどについてつまみ「ひとり読みシート」に記述する。	② ③				
		<b>読みの交流1</b> ○ 和漢混交文の特徴や効果についての「読みの交流」を行う。	④				
		<b>読みの交流2</b> ○ 感動的な表現についての「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」でつまみ「和漢混交文の特徴」についての自分の考えを付箋紙に記述する。 <b>M</b>	⑤				

		<b>読みのまとめ</b> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。 <b>M</b> ○ 足跡シートに自分の考えをまとめ、「和漢混交文の特徴」についてどのような、知識を身に付けたかを振り返る。 <b>RM</b>	⑥	<b>方法</b> ・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート、単元テスト)	・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート、単元テスト)	・ひとり読みシート ・付箋紙の記述内容	
<b>考えを基に表現する場</b>	<b>拡散的思考を働かせる場面</b>	<b>下書き</b> ○ 表現の際に生かした知識を足跡シートに記入し、知識を基に表現できているか確認する。 <b>拡M</b> ○ 「読みの交流」で形成した自分の考えを基に、朗読の「下書き(練習)」をする。 <b>拡M</b>	⑦	A	○ 「意見交流」や自分の朗読の推敲を通して、和漢混交文のリズムや表現の効果について理解している。	○ 「意見交流」や自分の朗読の推敲を通して、和漢混交文のリズムや表現の効果を用いて朗読している。(読)	○ 「意見交流」や朗読の推敲を通して、友達からの指摘を踏まえ、自分の朗読を見直し、必要に応じて改善しようとしている。
		<b>意見交流</b> ○ 自分や他者の朗読について気付いたことを発表したり聞いたりし、より適切な表現について考え、必要に応じて表現し直す。 <b>拡M</b> ○ 「意見交流」を通して、より適切な表現の仕方や改善策を考え、付箋紙に記述する。 <b>収M</b>	⑧	B	○ 「意見交流」や自分の朗読の推敲を通して、和漢混交文のリズムや擬音語、擬態語などの表現の効果のいずれかについて理解している。	○ 「意見交流」や自分の朗読の推敲を通して、和漢混交文のリズムや擬音語、擬態語などの表現の効果のいずれかを用いて朗読している。(読)	○ 「意見交流」や朗読の推敲を通して、自分の朗読を見直し、必要に応じて改善しようとしている。
	<b>収束的思考を働かせる場面</b>	<b>清書</b> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、自分の考えを表現し直す。 <b>収M</b> ○ 朗読の清書(本番)を行う。	⑨	<b>方法</b> ・朗読 ・足跡シート	・朗読 ・足跡シート	・朗読 ・足跡シート	
		<b>まとめの時間</b> ○ 足跡シートを記入し、単元でどのような知識を身に付けたか、単元の学習過程や思考方法について振り返る。 <b>拡・収RM</b>	⑩				



単元の指導計画（10）（12時間完了）

単元名 2年「メロスの人物評を書こう」（「走れメロス」太宰治／光村図書）

(1) 単元の目標

知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度

知	場面ごとの心情、登場人物同士の関係、語り手の効果について理解することができる。
思	「読みの交流」を踏まえて、メロスの人物像についての自分の考えを形成し、根拠を明確にして批評することができる。
態	「読みの交流」「意見交流」に意欲的に参加し、友達のを考えを必要に応じて取り入れ、自分の考えを深めようとする。

(2) 単元構成と評価基準表

(話)：話すこと・聞くこと (書)：書くこと (読)：読むこと

場	思考	学習活動	時	評	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
考えを形成する場		<b>はじめの時間</b> ○ 単元の課題を知る。 ○ 単元で行う言語活動（メロスの人物評を書く）を知る。 ○ 今までの学習を振り返り、「人物像を捉えるために必要なこと」についても既存の知識を振り返る。 ○ 全文を通読する。 ○ はじめの考えを付箋紙にまとめる。	①	A	○ 「読みの交流」を踏まえて、場面ごとのメロスの心情、メロスと他の登場人物との関係、語り手の効果について理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、場面ごとのメロスの心情、メロスと他の登場人物との関係、語り手の効果をつまみ、メロスの人物像についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で場面ごとのメロスの心情、メロスと他の登場人物との関係、語り手の効果を捉え、メロスの人物像についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、友達のを考えの根拠をつまみ、必要に応じてそれを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。
		<b>ひとり読み</b> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達のを考えと自分の考えを比較したり関連付けたりする。 ○ 文章が示す内容や言葉の働きなどについて捉え「ひとり読みシート」に記述する。	② ③ ④	B	○ 「読みの交流」を踏まえて、メロスの心情の変化について理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて、メロスの心情の変化をつまみ、自分の考えを簡潔に伝える工夫についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で場面ごとのメロスの心情、メロスと他の登場人物との関係、語り手の効果を捉えようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して、必要に応じて友達のを考えを取り入れ、自分の考えを形成しようとしている。
		<b>読みの交流1</b> ○ はじめから妹の結婚式を挙げる場面まででメロスの人物像についての「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で捉えた「メロスの人物像」についての自分の考えを付箋紙に記述する。M	⑤				
		<b>読みの交流2</b> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達のを考えと比較したり、関連付けたりする。M	⑥				

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 濁流を泳ぐ場面から疲労困憊で倒れる場面まででメロスの人物像についての「読みの交流」を行う。</li> <li>○ 「読みの交流」で捉えた「メロスの人物像」についての自分の考えを付箋紙に記述する。M</li> </ul>				
	<p><b>読みの交流3</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。M</li> <li>○ 疲労からの復活の場面から終わりの場面までメロスの人物像についての「読みの交流」を行う。</li> <li>○ 「読みの交流」で捉えた「メロスの人物像」についての自分の考えを付箋紙に記述する。M</li> </ul>	⑦			
	<p><b>読みのまとめ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。M</li> <li>○ 足跡シートに自分の考えをまとめ、「メロスの人物像」についてどのような、知識を身に付けたかを振り返る。RM</li> </ul>	⑧	<p><b>方法</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・付箋紙の記述内容</li> <li>・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・付箋紙の記述内容</li> <li>・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとり読みシート</li> <li>・付箋紙の記述内容</li> </ul>
<p>考えを基に表現する場面</p> <p>拡散的思考を働かせる場面</p>	<p><b>下書き</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 表現の際に生かした知識を足跡シートに記入し、知識を基に表現できているか確認する。M</li> <li>○ 「読みの交流」で形成した自分の考えを基に、メロスの人物評の「下書き」をする。M</li> </ul> <p><b>意見交流</b></p>	⑨	<p><b>A</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「意見交流」やメロスの人物評の推敲を通してメロスを勇者と呼ぶにふさわしいかどうか適切な根拠を用いて人物評を書くことについて理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「意見交流」やメロスの人物評の推敲を通して、メロスを勇者と呼ぶにふさわしいかどうか批評する上で適切な根拠を用いて人物評を書いている。(書)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「意見交流」やメロスの人物評の推敲を通して、友達からの指摘を踏まえ、自分の人物評を見直し、必要に応じて改善しようとしている。</li> </ul>

収束的思考を働かせる場面	<p>○ 自分や他者のメロスの人物評の「下書き」について気付いたことを発表したり聞いたりし、より適切な表現について考え、必要に応じて表現し直す。<b>拡M</b></p> <p>○ 「意見交流」を通して、より適切な表現の仕方や改善策を考え、付箋紙に記述する。<b>収M</b></p>	⑩	<b>B</b>	<p>○ 「意見交流」やメロスの人物評の推敲を通して、メロスを勇者と呼ぶにふさわしいかどうか批評する上で根拠を用いて人物評を書くことについて理解している。</p>	<p>○ 「意見交流」やメロスの人物評の推敲を通して、メロスを勇者と呼ぶにふさわしいかどうか批評する上で根拠を用いて人物評を書いている。 (書)</p>	<p>○ 「意見交流」やメロスの人物評の推敲を通して、自分の人物評を見直し、必要に応じて改善しようとしている。</p>
	<p><b>清書</b></p> <p>○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、自分の考えを表現し直す。<b>収M</b></p> <p>○ メロスの人物評の清書を行う。</p>	⑪		<p><b>方法</b></p> <p>・メロスの人物評 ・足跡シート</p>	<p>・メロスの人物評 ・足跡シート</p>	<p>・メロスの人物評 ・足跡シート</p>
	<p><b>まとめの時間</b></p> <p>○ 足跡シートを記入し、単元でどのような知識を身に付けたか、単元の学習過程や思考方法について振り返る。 <b>拡・収RM</b></p>	⑫				

単元の指導計画 (11) (10 時間完了)

単元名 2年「四行詩を書こう」 (「漢詩の風景」／光村図書)

(1) 単元の目標

知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度

<b>知</b>	漢詩のリズムや表現技法の効果，起承転結の文章構成について理解することができる。
<b>思</b>	「読みの交流」を踏まえて，自分の意見を簡潔に伝えるためのリズムや表現技法の効果，起承転結の文章構成についての自分の考えを形成し，根拠を明確にして表現することができる。
<b>態</b>	「読みの交流」「意見交流」に意欲的に参加し，友達のを考えを必要に応じて取り入れ，自分の考えを深めようとする。

(2) 単元構成と評価基準表

(話)：話すこと・聞くこと (書)：書くこと (読)：読むこと

場	思考	学習活動	時	評	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
考えを形成する場		<b>はじめの時間</b> ○ 単元の課題を知る。 ○ 単元で行う言語活動(自分の思いを四行詩で書く)を知る。 ○ 今までの学習を振り返り、「漢文の特徴」についての既存の知識を振り返る。 ○ 全文を通読する。 ○ はじめの考えを付箋紙にまとめる。	①	A	○ 「読みの交流」を踏まえて，漢詩のリズムや表現技法の効果，起承転結の文章構成について理解している。	○ 「読みの交流」を踏まえて，漢詩のリズムや表現技法の効果，起承転結の文章構成についての自分の考えを形成している。(読)	○ 「ひとり読み」で，漢詩のリズムや表現技法の効果，起承転結の文章構成について捉え自分の考えを簡潔に伝える工夫についての自分の考えを形成しようとしている。 ○ 「読みの交流」を通して，友達のを考えの根拠を捉えた上で，必要に応じてそれを取り入れ，自分の考えを形成しようとしている。
		<b>ひとり読み</b> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み，友達のを考えと比較したり関連付けたりする。 ○ 文章が示す内容や言葉の働きなどについて捉え「ひとり読みシート」に記述する。	② ③				
		<b>読みの交流1</b> ○ 漢詩特有のリズムや表現技法の効果についての「読みの交流」を行う。	④				
		<b>読みの交流2</b> ○ 起承転結の構成についての「読みの交流」を行う。 ○ 「読みの交流」で捉えた「漢詩のリズムや表現技法の効果」についての自分の考えを付箋紙に記述する。 <b>M</b>	⑤				

		<b>読みのまとめ</b> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、友達の考えと比較したり、関連付けたりする。 <b>M</b> ○ 足跡シートに自分の考えをまとめ、「漢詩の構成」についてどのような、知識を身に付けたかを振り返る。 <b>RM</b>	⑥	<b>方法</b> ・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)	・付箋紙の記述内容 ・読みのまとめ(足跡シート, 単元テスト)	・ひとり読みシート ・付箋紙の記述内容	
<b>考えを基に表現する場</b>	<b>拡散的思考を働かせる場面</b>	<b>下書き</b> ○ 表現の際に生かした知識を足跡シートに記入し、知識を基に表現できているか確認する。 <b>拡M</b> ○ 「読みの交流」で形成した自分の考えを基に、詩の「下書き」をする。 <b>拡M</b>	⑦	A	○ 「意見交流」や詩の推敲を通して、漢詩のリズムや表現技法の効果、起承転結の文章構成について理解している。	○ 「意見交流」や詩の推敲を通して、漢詩のリズムや表現技法の効果、起承転結の文章構成を用いて詩を書いている。(書)	○ 「意見交流」や詩の推敲を通して、友達からの指摘を踏まえ、自分の詩を見直し、必要に応じて改善しようとしている。
		<b>意見交流</b> ○ 自分や他者の詩の下書きについて気付いたことを発表したり聞いたりし、より適切な表現について考え、必要に応じて表現し直す。 <b>拡M</b> ○ 「意見交流」を通して、より適切な表現の仕方や改善策を考え、付箋紙に記述する。 <b>収M</b>	⑧	B	○ 「意見交流」や詩の推敲を通して、漢詩のリズムや表現技法の効果もしくは起承転結の文章構成について理解している。	○ 「意見交流」や詩の推敲を通して、漢詩のリズムや表現技法の効果もしくは起承転結の文章構成を用いて詩を書いている。(書)	○ 「意見交流」や詩の推敲を通して、自分の詩を見直し、必要に応じて改善しようとしている。
	<b>収束的思考を働かせる場面</b>	<b>清書</b> ○ 前時の付箋紙をまとめた「座席表」を読み、自分の考えを表現し直す。 <b>収M</b> ○ 詩の清書を行う。	⑨	<b>方法</b> ・詩 ・足跡シート	・詩 ・足跡シート	・詩 ・足跡シート	
		<b>まとめの時間</b> ○ 足跡シートを記入し、単元でどのような知識を身に付けたか、単元の学習過程や思考方法について振り返る。 <b>拡・収RM</b>	⑩				